

東京海上・先進国好利回り
CBファンド2023-09
(為替ヘッジあり)(限定追加型)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（転換社債） (課税上は株式投資信託として取扱われます。)	
信託期間	2023年9月25日から2027年11月24日	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。原則として、為替ヘッジを行うことにより為替変動リスクの低減を図ります。	
主要投資対象	東京海上・先進国好利回りCBファンド2023-09(為替ヘッジあり)(限定追加型)	「東京海上・先進国好利回りCBマザーファンド2023-09」を主要投資対象とします。
	東京海上・先進国好利回りCBマザーファンド2023-09	先進国の企業が発行する米ドル、ユーロおよび英ポンド建ての転換社債等を主要投資対象とします。
投資制限	東京海上・先進国好利回りCBファンド2023-09(為替ヘッジあり)(限定追加型)	・株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	東京海上・先進国好利回りCBマザーファンド2023-09	・株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の、繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額の水準、市況動向等を勘案して分配を行う方針です。ただし、分配対象額が少額の場合等には、収益分配を行わないことがあります。 収益の分配に充当せず、信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。	

第1期 運用報告書（全体版）

（決算日 2023年11月24日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「東京海上・先進国好利回りCBファンド2023-09(為替ヘッジあり)(限定追加型)」は、このたび、第1期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

東京海上アセットマネジメント

東京都千代田区丸の内1-8-2 鉄鋼ビルディング

お問い合わせ窓口
東京海上アセットマネジメント サービスデスク 0120-712-016
受付時間：営業日の9時～17時
<https://www.tokiomarineam.co.jp/>

原則、各表の数量、金額の単位未満は切り捨て、比率は四捨五入で表記していますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値と一致しない場合があります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
また、一印は組み入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			新株予約権付社債 (転 換 社 債) 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 期 騰 落 中 率		
(設定日)	円			円	%	百万円
2023年 9 月 25 日	10,000			—	—	4,236
1 期(2023年11月24日)	9,748			0	△2.5	7,777

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「新株予約権付社債（転換社債）組入比率」は実質比率を記載しています。

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		新 株 予 約 権 付 社 債 (転 換 社 債) 組 入 比 率
		騰	落 率	
(設定日)	円		%	%
2023年 9 月 25 日	10,000		—	—
9 月 末	9,953		△0.5	91.0
10 月 末	9,664		△3.4	100.5
(期 末)				
2023年11月24日	9,748		△2.5	102.0

(注) 騰落率は設定日比です。

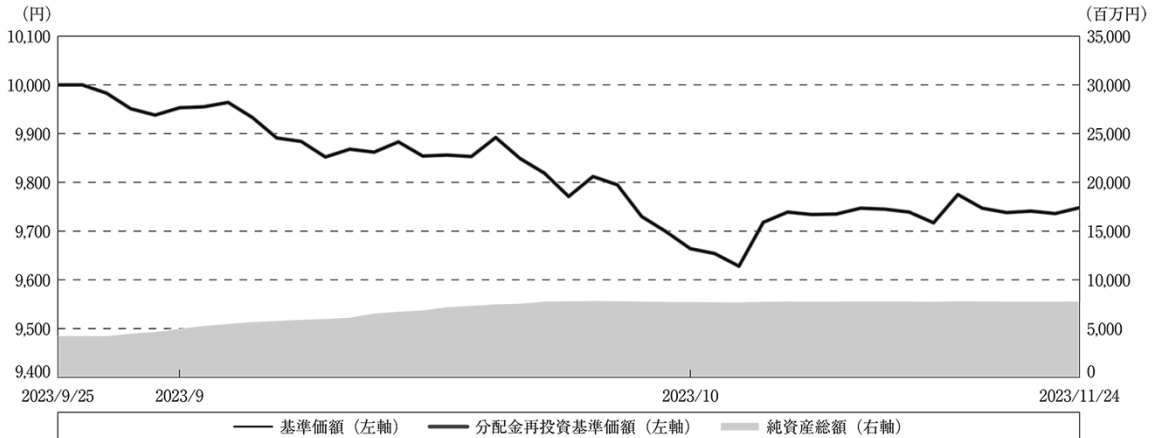
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「新株予約権付社債（転換社債）組入比率」は実質比率を記載しています。

当ファンドにベンチマークはなく、また当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数もないため、ベンチマーク、参考指数を記載していません。

○運用経過

(2023年9月25日～2023年11月24日)

■期中の基準価額等の推移



設定日：10,000円

期 末：9,748円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 2.5% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

◇基準価額の主な変動要因

プラス要因

- ・保有CB(転換社債)からの利息収入
- ・堅調な個人消費などを背景とした企業の信用力の改善

マイナス要因

- ・2023年9月から10月にかけて、主要中央銀行の利上げ政策が想定よりも長引くとの見通しによりリスク資産が軟調となったこと
- ・為替ヘッジなどのコスト

■投資環境

当期のCB市場は上昇しました。期初、CB市場は、主要中央銀行の利上げ政策が想定よりも長引くとの見通しから、2023年9月および10月と2ヵ月連続して下落しましたが、11月にはセンチメント(市場心理)の改善が見られ、上昇に転じました。好調なクリスマス商戦の影響から、株式市場に加えてクレジット市場でもプラスのリターンとなったことに加え、債券市場でもインフレ率が落ち着いた動きとなったことから、長期金利を中心に利回りが低下したこともプラスに寄与しました。

■ポートフォリオについて

<東京海上・先進国好利回りCBファンド2023-09(為替ヘッジあり)(限定追加型)>

「東京海上・先進国好利回りCBマザーファンド2023-09」を主要投資対象とし、高位の組入比率を維持しました。また、マザーファンドの通貨ウェイトに応じて信託期間に合わせた期間固定の為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

当ファンドの基準価額は、ヘッジコスト等の影響により2.5%下落しました。

<東京海上・先進国好利回りCBマザーファンド2023-09>

先進国の企業が発行するCBのなかから、相対的に利回りが高く投資魅力度が高いと判断し、信託期間内に償還を迎える銘柄に投資を行いました。

個別銘柄では、多くの銘柄がプラス寄与となる一方で、ルミナー・テクノロジーズとジェットブルー航空などの価格が下落しマイナスに寄与しました。これらの下落は信用スプレッドの拡大ではなく、CBの時価と理論価格の乖離率の低下によるものであり、両発行体の信用力には問題は無いと認識しています。

以上の運用の結果、基準価額は0.7%上昇しました。

■当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けていません。

また、当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる参考指数もないため、記載する事項はありません。

■分配金

当期においては、基準価額の水準などを勘案して、収益分配を行わないこととしました。収益分配に充てなかった収益については信託財産内に留保し、当ファンドの運用方針に基づいて運用を行います。

◇分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第1期
	2023年9月25日～ 2023年11月24日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	— %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	57

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

＜東京海上・先進国好利回りCBファンド2023-09(為替ヘッジあり)(限定追加型)＞

「東京海上・先進国好利回りCBマザーファンド2023-09」を主要投資対象とし、高位の組入比率を維持します。
また、マザーファンドの通貨ウェイトに応じて対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

＜東京海上・先進国好利回りCBマザーファンド2023-09＞

CB市場全体では、満期またはプットまでの利回りが過去と比較して高水準で推移しており、株式転換価値が高く評価されていると考えます。また、伝統的な債券に比べてCBの多くはデュレーション(残存期間と同等)が短く金利感応度が相対的に低いとみられることなどから金利の不確実性はそれほど懸念されておらず、CB市場の投資対象銘柄の大部分は額面以下の取引となっています。加えて、市場では新規の株式発行だけでなく長期の債券発行も活発に行われていることも、CB市場の信用力にプラスに働くと考えており、CB市場の見通しは引き続き良好と想定します。

このような環境下、引き続き分散および利回りに配慮した既存ポートフォリオを維持しつつ、信用力を始め様々なニュースに目を配りながら慎重にモニタリングする方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2023年9月25日～2023年11月24日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(13)	(0.128)	*委託した資金の運用、基準価額の計算、目論見書作成等の対価
(販 売 会 社)	(5)	(0.055)	*購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0.005)	*運用財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	*監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	*その他は、信託事務等に要する諸費用
合 計	18	0.190	
期中の平均基準価額は、9,808円です。			

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。

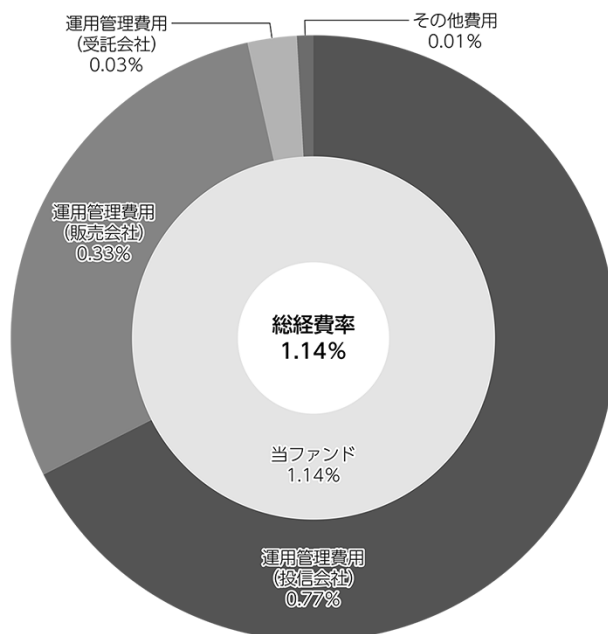
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.14%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年9月25日～2023年11月24日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
東京海上・先進国好利回りCBマザーファンド2023-09	7,942,095	7,944,124	19,446	19,361

○利害関係人との取引状況等

(2023年9月25日～2023年11月24日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年11月24日現在)

親投資信託残高

銘 柄	当 期 末	
	口 数	評 価 額
	千口	千円
東京海上・先進国好利回りCBマザーファンド2023-09	7,922,648	7,976,522

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2023年11月24日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
東京海上・先進国好利回りCBマザーファンド2023-09	7,976,522	99.8
コール・ローン等、その他	13,138	0.2
投資信託財産総額	7,989,660	100.0

(注) 東京海上・先進国好利回りCBマザーファンド2023-09において、当期末における外貨建純資産(10,448,718千円)の投資信託財産総額(10,498,684千円)に対する比率は99.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値で邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1米ドル=149.63円、1ユーロ=163.23円、1英ポンド=187.71円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年11月24日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	14,451,081,755
東京海上・先進国好利回りCBマザーファンド2023-09(評価額)	7,976,522,568
未収入金	6,474,559,187
(B) 負債	6,673,117,914
未払金	6,659,980,007
未払信託報酬	13,010,997
その他未払費用	126,910
(C) 純資産総額(A－B)	7,777,963,841
元本	7,978,634,428
次期繰越損益金	△ 200,670,587
(D) 受益権総口数	7,978,634,428口
1万口当たり基準価額(C／D)	9,748円

(注) 当ファンドの設定時元本額は4,236,319,851円、期中追加設定元本額は3,744,261,050円、期中一部解約元本額は1,946,473円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金が△表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

(注) 上記表中の1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第11号に規定する計算口数当たりの純資産の額となります。

○損益の状況 (2023年9月25日～2023年11月24日)

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	△151,077,456
売買益	52,311,741
売買損	△203,389,197
(B) 信託報酬等	△ 13,145,607
(C) 当期損益金(A＋B)	△164,223,063
(D) 追加信託差損益金	△ 36,447,524
(売買損益相当額)	(△ 36,447,524)
(E) 計(C＋D)	△200,670,587
(F) 収益分配金	0
次期繰越損益金(E＋F)	△200,670,587
追加信託差損益金	△ 36,447,524
(配当等相当額)	(9,147,642)
(売買損益相当額)	(△ 45,595,166)
分配準備積立金	36,435,504
繰越損益金	△200,658,567

(注) (A) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B) 信託報酬等は、消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (D) 追加信託差損益金は、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分です。

(注) 信託財産の運用指図に係る権限の全部または一部を委託するために要した費用として、このファンドが組み入れている親投資信託の純資産総額に対して年1万分の35の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しています。

(注) 分配金の計算過程は以下の通りです。

項 目	当 期
a. 配当等収益(費用控除後)	36,435,504円
b. 有価証券等損益額(費用控除後)	0円
c. 信託約款に規定する収益調整金	9,147,642円
d. 信託約款に規定する分配準備積立金	0円
e. 分配対象収益(a＋b＋c＋d)	45,583,146円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	57円
g. 分配金	0円
h. 分配金(1万口当たり)	0円

東京海上・先進国好利回りCBマザーファンド2023-09

運用報告書 第1期（決算日 2023年11月24日）

（計算期間 2023年9月25日～2023年11月24日）

ここに、法令・諸規則に基づき、当マザーファンド（親投資信託）の直前の計算期間にかかる運用状況をご報告申し上げます。

東京海上アセットマネジメント

原則、各表の数量、金額の単位未満は切り捨て、比率は四捨五入で表記していますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値と一致しない場合があります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

また、一印は組み入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		新株予約権付社債 （ 転 換 社 債 ） 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		期 騰 落	中 率		
（設定日）	円		%	%	百万円
2023年9月25日	10,000	—	—	—	5,339
1期（2023年11月24日）	10,068	0.7	99.5		10,480

（注）設定日の基準価額は、設定時の価額です。

（注）設定日の純資産総額は、設定元本を表示しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		新株予約権付社債 （ 転 換 社 債 ） 組 入 比 率
		騰 落	率	
（設定日）	円		%	%
2023年9月25日	10,000	—	—	—
9月末	10,050	0.5	90.2	
10月末	9,841	△1.6	99.3	
（期 末）				
2023年11月24日	10,068	0.7	99.5	

（注）騰落率は設定日比です。

当ファンドにベンチマークはなく、また当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数もないため、ベンチマーク、参考指数を記載していません。

○運用経過

(2023年9月25日～2023年11月24日)

■期中の基準価額等の推移

設定日：10,000円

期 末：10,068円

騰落率： 0.7%

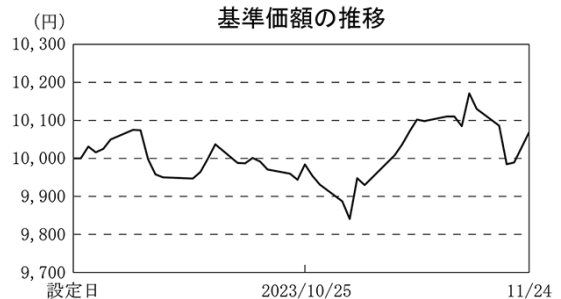
◇基準価額の主な変動要因

プラス要因

- ・保有CB（転換社債）からの利息収入
- ・堅調な個人消費などを背景とした企業の信用力の改善

マイナス要因

- ・2023年9月から10月にかけて、主要中央銀行の利上げ政策が想定よりも長引くとの見通しによりリスク資産が軟調となったこと



■投資環境

【CB市場】

当期のCB市場は上昇しました。期初、CB市場は、主要中央銀行の利上げ政策が想定よりも長引くとの見通しから、2023年9月および10月と2ヵ月連続して下落しましたが、11月にはセンチメント（市場心理）の改善が見られ、上昇に転じました。好調なクリスマス商戦の影響から、株式市場に加えてクレジット市場でもプラスのリターンとなったことに加え、債券市場でもインフレ率が落ち着いた動きとなったことから、長期金利を中心に利回りが低下したこともプラスに寄与しました。

【為替市場】

米ドル円為替レートは小幅に円安米ドル高となりました。期前半は、米国長期金利の上昇などを受けて円安米ドル高基調となるなか、イスラエルとイスラム組織ハマスの紛争が始まると円高に転じる場面もあり、おおむね横ばいで推移しました。期後半は、日銀の長期金利誘導水準の柔軟化などの金融政策変更により振れ幅が大きくなりましたが、影響は限定的でした。期末にかけては、米国で金融引き締め懸念の後退などから長期金利が低下し円高米ドル安基調となりましたが、期を通じては小幅に円安米ドル高となりました。

ユーロ円為替レートおよび英ポンド円為替レートは、それぞれ円安となりました。

■ポートフォリオについて

先進国の企業が発行するCBのなかから、相対的に利回りが高く投資魅力度が高いと判断し、信託期間内に償還を迎える銘柄に投資を行いました。

個別銘柄では、多くの銘柄がプラス寄与となる一方で、ルミナー・テクノロジーズとジェットブルー航空などの価格が下落しマイナスに寄与しました。これらの下落は信用スプレッドの拡大ではなく、CBの時価と理論価格の乖離率の低下によるものであり、両発行体の信用力には問題は無いと認識しています。

以上の運用の結果、基準価額は0.7%上昇しました。

○今後の運用方針

CB市場全体では、満期またはプットまでの利回りが過去と比較して高水準で推移しており、株式転換価値が高く評価されていると考えます。また、伝統的な債券に比べてCBの多くはデュレーション（残存期間と同等）が短く金利感応度が相対的に低いとみられることなどから金利の不確実性はそれほど懸念されておらず、CB市場の投資対象銘柄の大部分は額面以下の取引となっています。加えて、市場では新規の株式発行だけでなく長期の債券発行も活発に行われていることも、CB市場の信用力にプラスに働くと考えており、CB市場の見通しは引き続き良好と想定します。

このような環境下、引き続き分散および利回りに配慮した既存ポートフォリオを維持しつつ、信用力を始め様々なニュースに目を配りながら慎重にモニタリングする方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細 (2023年 9 月25日～2023年11月24日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 0	% 0.000	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(そ の 他)	(0)	(0.000)	*その他は、信託事務等に要する諸費用
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、9,945円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2023年9月25日～2023年11月24日)

新株予約権付社債（転換社債）

		買 付		売 付	
		額 面	金 額	額 面	金 額
外 国	アメリカ	千米ドル 77,040	千米ドル 63,051	千米ドル —	千米ドル —
	ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ
	イタリア	2,600	2,247	—	—
	オーストリア	2,000	1,711	—	—
	イギリス	千英ポンド 2,700	千英ポンド 1,988	千英ポンド —	千英ポンド —

(注) 金額は受渡資金です。(経過利子分は含まれていません)

○利害関係人との取引状況等

(2023年9月25日～2023年11月24日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年11月24日現在)

外国新株予約権付社債（転換社債）

銘 柄	当 期 末		
	額 面 金 額	評 価 額	
		外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)	千米ドル	千米ドル	千円
PMT 5 1/2 11/01/24	1,340	1,315	196,816
GMED 0 3/8 03/15/25	2,910	2,678	400,807
TREE 0 1/2 07/15/25	3,450	2,685	401,859
WIX 0 08/15/25	3,020	2,692	402,830
RWT 5 3/4 10/01/25	1,400	1,288	192,773
XROAU 0 12/02/25	3,000	2,643	395,490
ALRM 0 01/15/26	1,450	1,262	188,951
RUN 0 02/01/26	3,450	2,361	353,334
EXPE 0 02/15/26	2,250	2,060	308,252
HAE 0 03/01/26	3,080	2,664	398,681
ABNB 0 03/15/26	3,050	2,693	403,076
BL 0 03/15/26	2,250	1,944	290,900
FSLY 0 03/15/26	2,130	1,834	274,538

銘 柄		当 期 末		
		額 面 金 額	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)		千米ドル	千米ドル	千円
ITRI 0 03/15/26		3,120	2,726	408,023
SPOT 0 03/15/26		1,500	1,299	194,483
JBLU 0 1/2 04/01/26		3,550	2,381	356,388
W 1 08/15/26		3,500	2,902	434,271
JAMF 0 1/8 09/01/26		2,860	2,405	359,950
SEALTD 0 1/4 09/15/26		2,450	1,975	295,661
SOFI 0 10/15/26		1,680	1,276	190,947
PRFT 0 1/8 11/15/26		2,450	1,998	299,015
U 0 11/15/26		3,320	2,662	398,346
LAZR 1 1/4 12/15/26		3,200	1,597	239,091
PEB 1 3/4 12/15/26		2,210	1,776	265,799
CFLT 0 01/15/27		1,590	1,286	192,449
MSTR 0 02/15/27		3,730	2,867	429,071
BXMT 5 1/2 03/15/27		2,200	1,951	291,932
SNAP 0 05/01/27		2,710	2,049	306,673
TDOC 1 1/4 06/01/27		1,610	1,283	192,097
SQ 0 1/4 11/01/27		2,580	2,012	301,092
小 計	額 面 ・ 金 額	77,040	62,578	9,363,608
	銘 柄 数 < 比 率 >	30	—	<89.3%>
(ユーロ・・・イタリア)		千ユーロ	千ユーロ	
NEXIIM 1 3/4 04/24/27		2,600	2,381	388,723
小 計	額 面 ・ 金 額	2,600	2,381	388,723
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	<3.7%>
(ユーロ・・・オーストリア)		千ユーロ	千ユーロ	
AMSSW 0 03/05/25		2,000	1,834	299,513
小 計	額 面 ・ 金 額	2,000	1,834	299,513
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	<2.9%>
ユ ー ロ 計	額 面 ・ 金 額	4,600	4,216	688,237
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	—	<6.6%>
(イギリス)		千英ポンド	千英ポンド	
OCDOLN 0 3/4 01/18/27		2,700	2,006	376,671
小 計	額 面 ・ 金 額	2,700	2,006	376,671
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	<3.6%>
合 計	額 面 ・ 金 額	—	—	10,428,516
	銘 柄 数 < 比 率 >	33	—	<99.5%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値で邦貨換算したものです。

(注) 株式、新株予約権証券および株式の性質を有するオプション証券等の組み入れはありません。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

○投資信託財産の構成

(2023年11月24日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
新株予約権付社債(転換社債)	10,428,516	99.3
コール・ローン等、その他	70,168	0.7
投資信託財産総額	10,498,684	100.0

(注) 当期末における外貨建純資産 (10,448,718千円) の投資信託財産総額 (10,498,684千円) に対する比率は99.5%です。
(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値で邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1米ドル=149.63円、1ユーロ=163.23円、1英ポンド=187.71円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年11月24日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	10,498,684,598
コール・ローン等	52,126,844
公社債(評価額)	10,428,516,823
未収利息	9,944,874
前払費用	8,096,057
(B) 負債	18,058,891
未払解約金	18,058,869
未払利息	22
(C) 純資産総額(A－B)	10,480,625,707
元本	10,410,082,791
次期繰越損益金	70,542,916
(D) 受益権総口数	10,410,082,791口
1万口当たり基準価額(C／D)	10,068円

(注) 当親ファンドの設定時元本額は5,339,387,737円、期中追加設定元本額は5,098,007,954円、期中一部解約元本額は27,312,900円です。

<元本の内訳>

東京海上・先進国好利回りCBファンド2023-09 (為替ヘッジあり) (限定追加型) 7,922,648,558円
東京海上・先進国好利回りCBファンド2023-09 (為替ヘッジなし) (限定追加型) 2,487,434,233円

(注) 上記表中の次期繰越損益金が△表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

(注) 上記表中の1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第11号に規定する計算口数当たりの純資産の額となります。

○損益の状況 (2023年9月25日～2023年11月24日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	65,156,971
受取利息	65,158,637
その他収益金	28,949
支払利息	△ 30,615
(B) 有価証券売買損益	3,288,995
売買益	212,284,907
売買損	△208,995,912
(C) 保管費用等	△ 7,700
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	68,438,266
(E) 追加信託差損益金	2,024,778
(F) 解約差損益金	79,872
(G) 計(D＋E＋F)	70,542,916
次期繰越損益金(G)	70,542,916

(注) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
(注) (E)追加信託差損益金は、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分です。
(注) (F)解約差損益金は、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分です。